

(別記)

令和3年度小平町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付けの現状、地域が抱える課題

小平町では水稲、大豆・小麦・そば等の畑作物、肉用牛を導入した複合経営が進んでいます。その為、水稲においては主食用水張り面積を確保しながら、加工用米、備蓄用米、輸出用米の計画的、安定生産・販売を図る事が必要不可欠です。

しかしながら、府県産米との競合や外食産業の需要の減少による米価不安定・労働力不足の中、地域の農業生産額を上げていくためには、水稲作付けと並行して畑作物の安定的な収量、品質の向上、地力の継続的な増進、耕種的な農地の改善及び、圃場の基盤整備による作業効率向上を図ることを継続的かつ迅速に取り組んでいかなければなりません。

また、地域の高齢化の中で、小面積でも経済性の高い野菜等の維持拡大も必要と考えており、特に施設園芸型の作物の振興を行ってまいりましたが水稲・畑作物経営面積の大規模化と同時に管理作業が重なることから労働力が不足し、新規生産者や栽培面積の拡大が進まない現状にあるため、高収益作物に力を入れ徐々に規模拡大しながら収益の向上を図っていきたいと考えており継続的な省力的新規作物の検討、助成が課題となっています。

販売においても生産者・行政・農協が連携した中で恒常的な販売販路の開拓・拡大に向け農畜産物のPR活動への取り組みが必要です。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力

強化に向けた産地としての取組方法・目標

小平町は、中山間地域特有の小区画不整形な圃場が多く、団地としてのまとまりも小さく、地形的に大規模機械化経営の育成は制約が多いのが現状です。

このような中、効率的かつ安定的な農業経営を継続・育成を図るため、高品質米の生産を主としながら、土地利用型作物である麦・大豆の生産力強化のほか、経営規模に応じて、野菜や花きといった施設園芸による高収益作物を取り入れながら経営の安定に努めることが肝要となります。

特に、転作作物の主体である麦・大豆については、重粘土壌により透排水性に難があるため収量が低いため、関係機関の指導のもと、圃場物理性の改善に取り組み、収量・品質の向上を目指していきます。

また、水稲の労働力軽減と低コスト生産の確立を図る上でも、直播栽培技術の向上を図りながら、圃場排水性の向上と労力軽減に努めることとします。

施設園芸については、特色ある作物としてアイボリーメロンやトルコギキョウなどの花き類が栽培されており、特に花きについては、より高収益な品種の選定のほか、高品質な花き生産に努めることとします。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

小平町の担い手は年々減少傾向にあるもの、規模拡大を含め稲作栽培への依存度と需要は高いため、水田を維持していくことを基本とするが産地として水田利用状況については今後も点検していき、点検の結果作付け状況に応じては、畑地化も含めた水田の有効利用について検討していく。このため、担い手の育成はもとより、今後は農地の集約化、簡易基盤整備の推進により、労働力の軽減を図るほか、スマート農業へのインフラ整備を図り、低コスト生産の確立を図っていく。

また、安水田の多面的機能を活かしながら、水田の維持を図っていく。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

- ・ 水稲面積の維持に向けて高品質米生産による『南るもい米』のブランド定着化。
- ・ いもち病等の病害虫対策の推進。
- ・ フレコン出荷や箱施肥技術など省力・低コスト化の推進。
- ・ 無代かき・直播栽培による省力・低コストに向けての地域対応性の継続検討。
- ・ 需要に応じた品種の作付け推進。
- ・ 生産者組織と連携した積極的な販売促進、産地PR活動の取組。
- ・ 配分数量についてはJAるもい間での数量移動は可能とする。

(2) 非主食用米、飼料作物

ア 飼料用米

- ・ 飼料用米生産農家や畜産農家、関係機関の話し合いにより、飼料用米の需要拡大、畜産物のブランド化を検討。
- ・ 耕種農家及び畜産農家を対象とした現地検討会の開催や関係機関との連携・情報提供によるコスト削減等検討し、飼料用米に対する理解を促進。

イ 米粉用米

- ・ 需要要望等に応じた計画的な作付けと低コスト多収栽培技術、多肥栽培や直播栽培技術について検討。

ウ WCS用稲

- ・ 畜産農家、関係機関との協議の中での地域特性等、地域統一認識を共有し遊休地等が発生した場合の対応の検討。

エ 加工用米・備蓄米・新市場開拓用米（輸出用米）

- ・ 水稲作付け（水張り）面積維持にむけ加工用米や備蓄米、輸出用米等の安定的な販売、新規需要米の生産。

(3) 麦、大豆

- ・ 収量、品質の向上に向けた地力増進対策、排水対策や輪作、計画生産の推進。
- ・ 無代かき・直播栽培での土壌物理性改善効果による収量性向上の継続検討。
- ・ 大豆の実需者との契約栽培の推進、拡大。
- ・ 秋まき小麦『きたほなみ』の安定生産、品質向上技術の確立。
- ・ パスタ用小麦（北海259号：ルルロツソ）の作付け、販売ブランド力強化。

(4) 飼料作物

- ・ 飼料作物の品質把握による良品質化・安定供給・作業効率化に向けての団地化推進。
- ・ 輪作、重粘土土壌の物理性改善としての子実トウモロコシ（実取りコーン）普及に向けた栽培の検討。

(5) そば

- ・ 収量、品質の向上に向けた適期栽培計画の推進。
- ・ 地域内における一部、全作業の作業委託体制の整備。
- ・ 地域内における土地条件不利地における土壌改善を含めた作付け検討。

(6) 高収益作物（園芸作物等）

- ・ 振興作物（かぼちゃ・スイートコーン・アスパラガス・トマト類（ミニ・中玉等）・ピーマン・メロン・いちご・すいか・花卉等）の新規就農者参入及び複合経営者、全面転作
- ・ 賃貸者の所得確保の受け皿としての生産面積維持、高品質化。
- ・ 小ロット内での産地指定販売へ向けての取組。
- ・ 新品目・新品種、新技術の実証、普及。

- ・ 長期安定契約販売に向けた計画的な作付けの推進。
 - ・ 広域的な販売体制の検証。
 - ・ 輸送方法の改善による流通経費の低減。
 - ・ 少量多品目栽培品の地産地消拡大からの産地PR活動への取組。
- (7) 不作付け地の解消
- ・ 不作付け地の土地条件の把握及び改良、改善に向けての検討。
 - ・ 農地有効利用の継続、農業経営の効率化を進める担い手への農地利用の集積・集約化。
- (8) 耕畜連携助成に対する取組支援
- ・ 水田放牧
圃場・土壌条件改善及びおびら和牛の飼養環境改善の為の水田放牧農家への支援。

5 作物ごとの作付予定面積等

作物等	前年度作付面積等 (ha)	当年度の作付予定面積等 (ha)	令和5年度の作付目標面積等 (ha)
主食用米	946.1	933.2	950.0
備蓄米	0.0	0.0	0.0
飼料用米	5.3	30.6	30.0
米粉用米	0.0	0.0	0.0
新市場開拓用米	0.0	0.0	1.0
WCS用稲	0.0	0.0	0.0
加工用米	0.0	0.0	0.0
麦	275.0	287.0	287.0
大豆	122.1	106.0	106.0
飼料作物	347.1	350.0	350.0
・子実用とうもろこし	17.9	33.8	34.0
そば	15.5	8.3	8.3
なたね	0.0	0.0	0.0
高収益作物	15.7	20.9	20.9
・花き	1.2	2.2	2.2
・メロン	1.1	1.8	1.8
・馬鈴薯	0.1	0.1	0.1
・南瓜	2.7	3.0	3.0
・スイートコーン	2.3	6.8	6.8
・アスパラガス	1.3	1.3	1.3
・トマト	2.9	2.5	2.5
・イチゴ	0.1	0.1	0.1
・スイカ	0.6	0.6	0.6
・ピーマン	0.3	0.5	0.5
・その他野菜	3.0	2.0	2.0
その他			
・			
畑地化		0.0	0.7

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標		
				前年度(実績)	目標値
1	秋小麦	麦・大豆低コスト高品質化推進加算	上段：作付面積： 単位 ha 下段：単収 kg/10a	(2年度) 151.8	(5年度) 193.0
				(2年度) 348.9	(5年度) 250.0
	北海259号			(2年度) 24.7	(5年度) 19.0
				(2年度) 290.3	(5年度) 100.0
	春小麦			(2年度) 98.5	(5年度) 75.0
				(2年度) 222.2	(5年度) 180.0
	大豆			(2年度) 122.1	(5年度) 106.0
				(2年度) 204.4	(5年度) 157.0
2	秋小麦 (北海259号)	産地戦略品種推進加算		(2年度) 24.7	(5年度) 19.0
				(2年度) 290.3	(5年度) 100.0
3	飼料作物	輪作推進加算	上段：作付面積 ha 下段：単収	(2年度) 17.9	(5年度) 34.0
				(2年度) 182.0	(5年度) 600.0
4	メロン	地域振興作物助成	上段：作付面積： 単位 ha 下段：単収 kg/10a	(2年度) 1.1	(5年度) 1.8
				(2年度) 1,335.0	(5年度) 1,600.0
	アスパラガス			(2年度) 1.3	(5年度) 1.3
				(2年度) 168.0	(5年度) 165.0
	イチゴ			(2年度) 0.1	(5年度) 0.1
				(2年度) 3,657.0	(5年度) 2,850.0
	トマト類			(2年度) 2.9	(5年度) 2.5
	(2年度) 2,285.0	(5年度) 3,650.0			
	ピーマン	(2年度) 0.3	(5年度) 0.5		
		(2年度) 10,910.0	(5年度) 7,300.0		
	スイカ	(2年度) 0.6	(5年度) 0.6		
		(2年度) 2,750.0	(5年度) 3,000		
	切り花類	(2年度) 1.2	(5年度) 2.2		
		(2年度) 16,679.0	(5年度) 24,400		
5	南瓜			(2年度) 2.7	(5年度) 3.0
				(2年度) 819.0	(5年度) 1,170.0
	スイートコーン			(2年度) 2.3	(5年度) 6.8
				(2年度) 427.0	(5年度) 800.0
6・7	メロン	環境保全型農業推進加算	上段：作付面積： 単位 ha 下段：単収 kg/10a	(2年度) 1.1	(5年度) 1.8
				(2年度) 1,335.0	(5年度) 1,600.0
	アスパラガス			(2年度) 1.3	(5年度) 1.3
				(2年度) 168.0	(5年度) 165.0
	イチゴ			(2年度) 0.1	(5年度) 0.1
				(2年度) 3,657.0	(5年度) 2,850.0
	トマト類	(2年度) 2.9	(5年度) 2.5		
		(2年度) 2,285.0	(5年度) 3,650.0		
	ピーマン	(2年度) 0.3	(5年度) 0.5		
		(2年度) 10,910.0	(5年度) 7,300.0		
	スイカ	(2年度) 0.6	(5年度) 0.6		
		(2年度) 2,750.0	(5年度) 3,000		

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	
				前年度（実績）	目標値
6・7	切り花類	環境保全型農業推進 加算	上段：作付面積：単 位ha 下段：単収 kg/ 10a	(2年度) 1.2	(5年度) 2.2
	南瓜			(2年度) 16,679.0	(5年度) 24,400
	スイートコーン			(2年度) 2.7	(5年度) 3.0
				(2年度) 819.0	(5年度) 1,170.0
				(2年度) 2.3	(5年度) 6.8
				(2年度) 427.0	(5年度) 800.0
8	飼料作物	飼料作物団地化推進 加算（3ha）	全作付面積：ha	(2年度) 347.1	(5年度) 350.0
			団地化率向上 単位：%	(2年度) 87.0	(5年度) 87.0
			3ha 団地化面積 単位：%	(2年度) 302.0	(5年度) 305.0
9	飼料作物	飼料作物団地化推進 加算（2ha）	全作付面積：ha	(2年度) 347.1	(5年度) 350.0
			団地化率向上 単位：%	(2年度) 6.4	(5年度) 9.1
			2ha 団地化面積 単位：%	(2年度) 22.2	(5年度) 31.8
10	秋まき小麦	作業委託推進助成	堆肥散布委託面積	(2年度) 34.5	(5年度) 44.0
	北海 259 号		秋まき小麦	(2年度) 151.8	(5年度) 193.0
	春まき小麦		北海 259 号	(2年度) 24.7	(5年度) 19.0
	大豆		春まき小麦	(2年度) 98.5	(5年度) 75.0
	デントコーン		大豆	(2年度) 122.1	(5年度) 106.0
	スイートコーン		デントコーン	(2年度) 17.9	(5年度) 34.0
	南瓜		スイートコーン	(2年度) 2.3	(5年度) 6.8
	飼料作物		南瓜	(2年度) 2.7	(5年度) 3.0
	そば		飼料作物	(2年度) 347.1	(5年度) 350.0
				そば	(2年度) 15.50
11	地力増進作物	その他作付助成	取組面積：ha	(2年度) 12.7	(5年度) 32.0
12	飼料作物	水田放牧（耕畜連 携）	分娩日数短縮	(2年度) 399.9	(5年度) 406
			全作付面積：ha	(2年度) 347.1	(5年度) 350.0
			取組面積：ha	(2年度) 4.0	(5年度) 7.9
13	秋まき小麦	堆肥施用推進加算 環境保全型農業推進	単収単位：kg/10a	(2年度) 348.9	(5年度) 250.0
	北海 259 号		堆肥施用面積増加 単位：ha	(2年度) 44.0	(5年度) 78.0
	春まき小麦		秋まき小麦	(2年度) 151.8	(5年度) 193.0
	大豆		北海 259 号	(2年度) 24.7	(5年度) 19.0
	飼料作物		春まき小麦	(2年度) 98.5	(5年度) 75.0
	そば		大豆	(2年度) 122.1	(5年度) 106.0
	スイートコーン		飼料作物	(2年度) 347.1	(5年度) 350.0
	南瓜		そば	(2年度) 15.5	(5年度) 8.3
	メロン		スイートコーン	(2年度) 2.3	(5年度) 6.8
	アスパラガス		南瓜	(2年度) 2.7	(5年度) 3.0
	イチゴ		メロン	(2年度) 1.1	(5年度) 1.8
	トマト類		アスパラガス	(2年度) 1.3	(5年度) 1.3
	ピーマン		イチゴ	(2年度) 0.1	(5年度) 0.1
	スイカ		トマト類	(2年度) 2.9	(5年度) 2.5
	切り花類		ピーマン	(2年度) 0.3	(5年度) 0.5
			スイカ	(2年度) 0.6	(5年度) 0.6

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	
				目標値	
13	切り花類	堆肥施用推進加算 環境保全型農業推進	切り花類	(2年度) 1.2	(5年度) 2.2
14	そば	そば作付助成	作付面積：ha	(2年度) 15.5	(5年度) 8.3
			単位当り収量増加 単位：kg/10a	(2年度) 39.6	(5年度) 37.4
15	新市場開拓用米	新市場開拓用米推進加算	作付面積の増加	(2年度) 0.0	(5年度) 1.0
16	飼料用米	複数年契約加算	作付面積維持 単位：ha	(2年度) 0.9	(5年度) 5.0
			供給維持 単位：t	(2年度) 5.1	(5年度) 26.0

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。